

# ダイワ／“RICI<sup>®</sup>” コモディティ・ファンド

&lt;3102&gt;

追加型投信／内外／その他資産(商品先物)／インデックス型  
日経新聞掲載名：コモデF

第20期 2018年4月25日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、コモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の成長をめざしております。当期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末	基準価額	3,418円
	純資産総額	2,455百万円
第20期	騰落率	3.3%
	分配金	0円

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

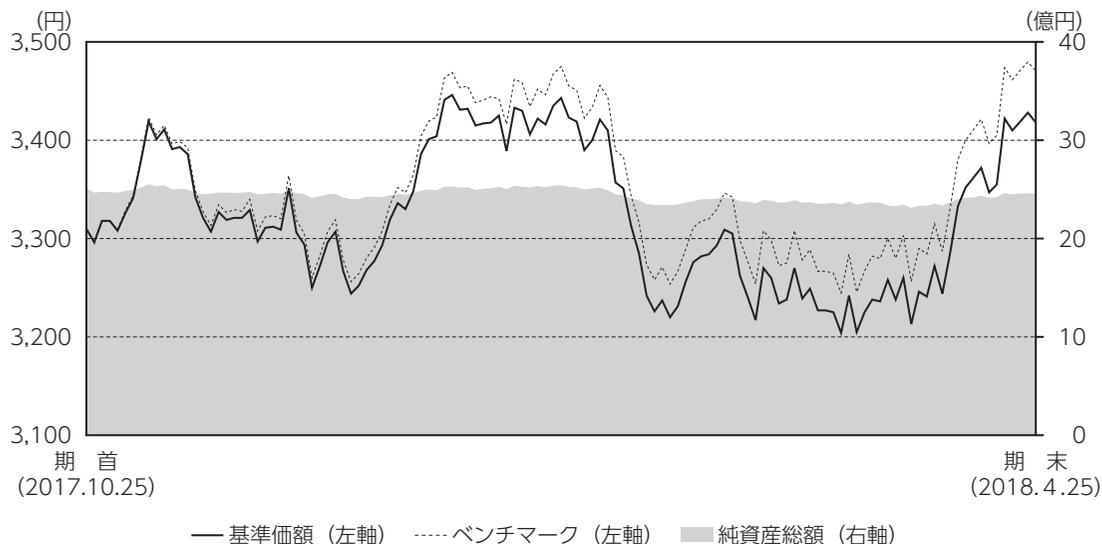
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法  
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → 「目論見書レポート」を選択 → 「運用報告書（全体版）」を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*ベンチマークはRICI<sup>®</sup> (円換算) です。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：3,310円

期末：3,418円

騰落率：3.3%

#### ■ 基準価額の変動要因

ケイマン籍の外国証券投資法人「“RICI”<sup>®</sup> Commodity Fund Ltd.」が発行する「“RICI”<sup>®</sup> class A」(以下、「“RICI”<sup>®</sup> ファンド クラスA」といいます。)を高位に組み入れることにより、世界のコモディティ(商品)価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行なった結果、商品市況の上昇を受けて当期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.10.26~2018.4.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	18円	0.554%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は3,323円です。
(投 信 会 社)	(4)	(0.135)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0.566	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、2013年4月25日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

		2013年4月25日 期初	2014年4月25日 決算日	2015年4月27日 決算日	2016年4月25日 決算日	2017年4月25日 決算日	2018年4月25日 決算日
基準価額(分配落)	(円)	4,995	5,173	4,241	3,117	3,101	3,418
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	200	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	7.6	△18.0	△26.5	△0.5	10.2
RICI <sup>®</sup> (円換算)騰落率	(%)	—	10.8	△17.4	△25.3	1.8	13.5
純資産総額	(百万円)	2,386	1,767	1,951	1,980	2,245	2,455

(注1) RICI<sup>®</sup>とは、「ロジャーズ国際コモディティ指数<sup>®</sup>」の略称です。

(注2) RICI<sup>®</sup>(円換算)は、RICI<sup>®</sup>(米ドル建)をもとに大和投資信託が円換算したものです。RICI<sup>®</sup>(米ドル建)は、基準価額への反映を考慮して、原則として1営業日前の日付の終値を採用しています。

## 投資環境について

(2017.10.26～2018.4.25)

### ■商品市況

商品市況は、期首より、OPEC（石油輸出国機構）の協調減産延長に対する楽観的な見方からエネルギーセクターがけん引し上昇しました。2017年11月中旬以降は、好調な米国経済指標の内容を受けた米国の利上げ観測の高まりや、米国の税制改革への楽観的な見通しおよび好調な米国株式市場などを受け、安全資産としての需要が後退した金の影響から下落しました。12月中旬以降は、米国の原油在庫の減少やOPECの協調減産が2018年以降も続くとの見方などから上昇したエネルギーセクター、米ドル下落による割安感からの買いが入った金、産地での天候悪化を受け好調に推移した農産物セクターなどにより上昇しました。2018年1月下旬以降は、米国のシェールオイル生産量が増加していることや、世界的な株価下落を受けた投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから原油が下落したことで軟調に推移しました。その後は、米国トランプ政権による鉄鋼とアルミニウムの輸入制限措置の発動など貿易摩擦懸念が台頭し、産業金属と大豆をはじめとする農産物の相場を圧迫する一方、安全資産としての需要が拡大した金やOPECによる供給過剰解消に向けた取り組みなどの影響を受けた原油が上昇し、商品市況は横ばいに推移しました。4月上旬以降は、シリア情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや貿易摩擦懸念が後退したことなどから買われた原油の影響から上昇して期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドル円為替相場は、期首から2017年末までは方向感のない展開でした。2018年に入ると、日本の金融正常化観測が高まったことや米国財務長官が米ドル安を容認する発言を行なったこと、米国の株価が下落したことなどをを受けて米ドル円は下落しました。その後は、北朝鮮に係る地政学リスクの後退や日米の金利差拡大を受けて米ドル円は下落幅を縮小して期末を迎えました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスAを高位に組み入れます。

### ■“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスA

世界中の経済活動に広く利用されているコモディティの値動きを表すRICI<sup>®</sup>（円換算）の動きにおおむね連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017.10.26～2018.4.25)

### ■ 当ファンド

当ファンドは、“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスAとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスAの組入比率を高位に保つよう調節を行ないました。

### ■ “RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスA

商品先物取引による運用にあたっては、ジム・ロジャーズ<sup>®</sup>氏の所有するBeeland Interests, Inc.からRICI<sup>®</sup>に関する情報の提供を受け、RICI<sup>®</sup>の構成目とその構成比率にできるだけ近似した商品先物ポートフォリオを構築し、RICI<sup>®</sup>の動きを反映した投資成果をめざして運用を行ないました。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

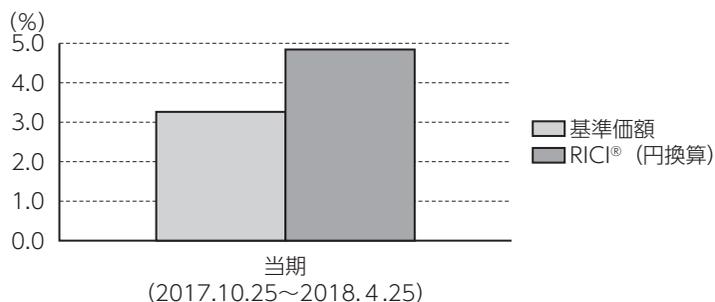
## ベンチマークとの差異について

当期のベンチマーク（RICI<sup>®</sup>（円換算））の騰落率は4.8%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は3.3%となりました。

“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスAの組入比率が100%を下回った部分がベンチマークとのかい離要因となりました。

また、諸経費負担等がマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年10月26日 ～2018年4月25日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	426

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスAを高位に組み入れます。

### ■“RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスA

世界中の経済活動に広く利用されているコモディティの値動きを表すRICI<sup>®</sup>（円換算）の動きにおおむね連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

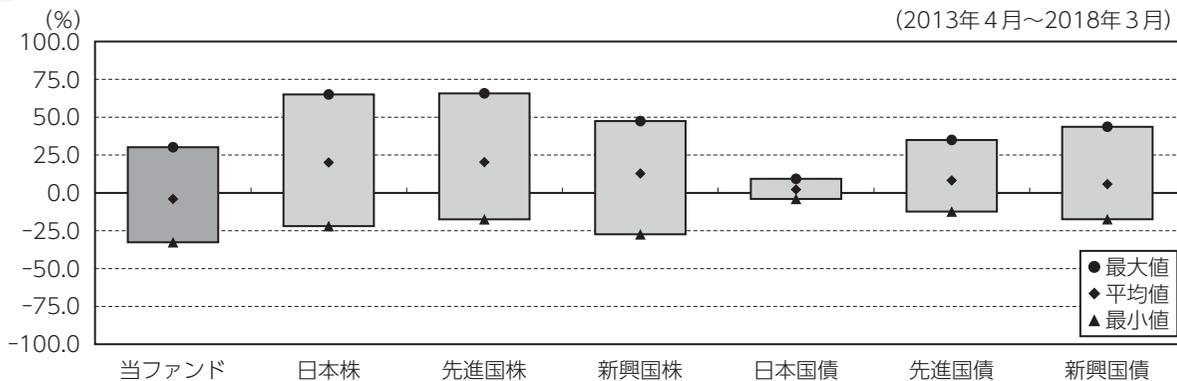


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品先物）／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国証券投資法人「“RICI” <sup>®</sup> Commodity Fund Ltd.」が発行する「“RICI” <sup>®</sup> class A」（以下「“RICI” <sup>®</sup> ファンドクラスA」といいます。）の投資証券（米ドル建） ②国内籍の証券投資信託「ダイワ・マネー・マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券（円建）
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①世界のコモディティ（商品）価格の中長期的な上昇を享受するために、ロジャーズ国際コモディティ指数 <sup>®</sup> の動き（円換算）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、「“RICI” <sup>®</sup> ファンドクラスA」とマザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。これらの投資対象ファンドへの投資にあたっては、通常の状態では「“RICI” <sup>®</sup> ファンドクラスA」への投資割合を高位（信託財産の純資産総額の90％程度以上）とすることを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	30.2	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
平均値	△4.0	20.1	20.3	12.8	2.2	8.2	5.7
最小値	△32.6	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東証証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



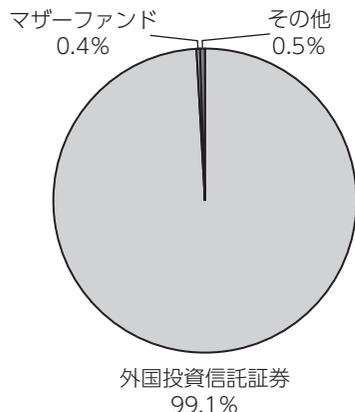
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

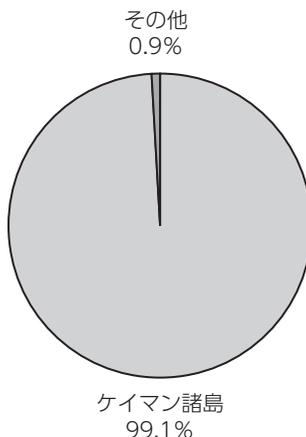
### 組入ファンド等

	比率
“RICI” ファンド クラスA	99.1%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.4
その他	0.5

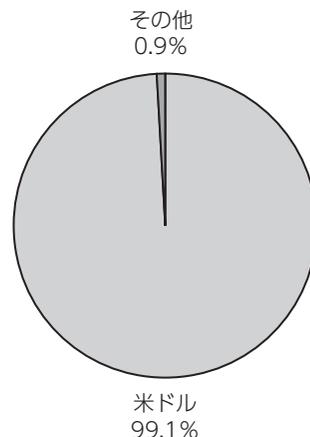
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2018年4月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行なっています。組入資産の内容については、次ページの「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

## 純資産等

項目	当期末
	2018年4月25日
純資産総額	2,455,896,239円
受益権総口数	7,184,628,252口
1万口当り基準価額	3,418円

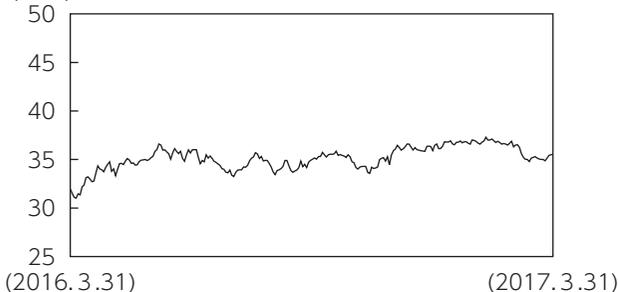
\* 当期中における追加設定元本額は1,123,880,452円、同解約元本額は1,533,299,636円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ “RICI<sup>®</sup>” ファンド クラスA (計算期間 2016年4月1日～2017年3月31日)

#### ■ 1口当り評価額の推移

(USD)



#### ■ 1口当り費用の明細

当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

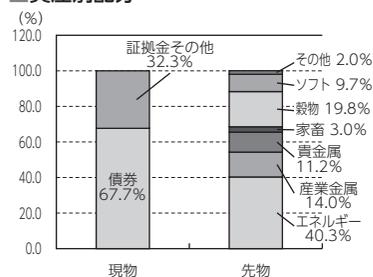
#### ■ 上位10銘柄 (商品先物)

銘柄名	比率
WTI CRUDE FUTURE JUN17	10.8%
BRENT CRUDE FUTR JUL17	8.8
GOLD 100 OZ FUTR JUN17	5.1
WTI CRUDE FUTURE MAY17	5.1
BRENT CRUDE FUTR JUN17	4.1
NATURAL GAS FUTR JUN17	3.3
CORN FUTURE JUL17	3.2
WHEAT FUTURE(CBT) JUL17	3.2
COTTON NO.2 FUTR JUL17	2.8
LME PRI ALUM FUTR JUN17	2.7
組入銘柄数	67銘柄

(注1) 比率は純資産に対する比率。

(注2) 銘柄数は正味の比率がゼロでないもの。

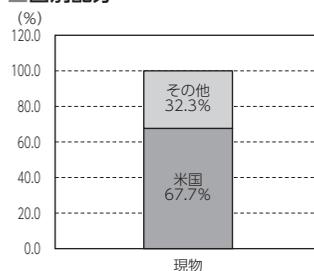
#### ■ 資産別配分



(注1) 比率は純資産に対する比率。

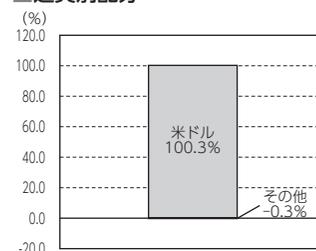
(注2) 先物は商品先物のカテゴリーごとの比率。

#### ■ 国別配分



(注) 比率は純資産に対する比率。

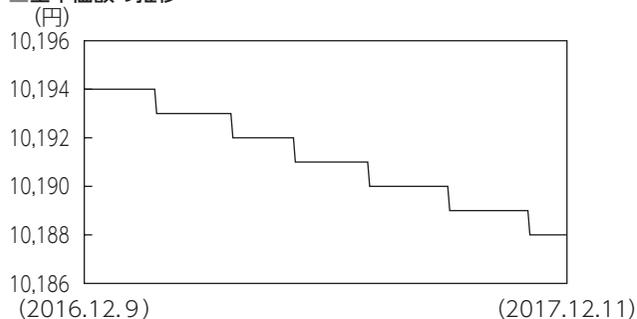
#### ■ 通貨別配分



(注) 比率は純資産に対する比率。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

■基準価額の推移



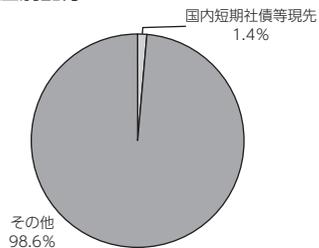
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

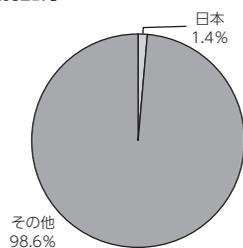
■組入銘柄

銘柄名	比率
三菱UFJ証券HD（CP現先）	1.4%
組入銘柄数	1銘柄

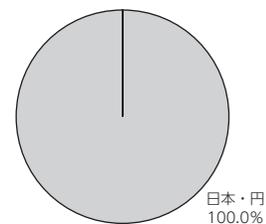
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については2ページ（1万口当りの費用の明細の項目の概要）をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

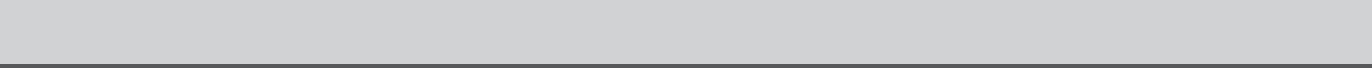
(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

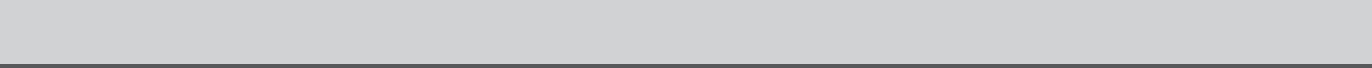
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 計算期間の運用経過、組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

「ダイワ／“RICI<sup>®</sup>” コモディティ・ファンド」およびその関連ファンドであるケイマン籍の外国証券投資法人「“RICI<sup>®</sup>” Commodity Fund Ltd.」（そのサブファンドである「“RICI<sup>®</sup>” class A」を含みます。）（以下、当注記において、総称して「ファンド」といいます。）はJames Beeland Rogers, Jim Rogers<sup>®</sup>またはBeeland Interests, Inc.（以下、当注記において、総称して「Beeland」といいます。）により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beelandはファンド購入者、すべての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。BeelandはRogers International Commodity Index<sup>®</sup>の決定、構成、算出において大和証券投資信託委託株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beelandはファンドが発行される時期、価格もしくは数量の決定またはファンドが換金されるもしくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与していません。Beelandはファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers<sup>®</sup>」、「Rogers International Commodity Index<sup>®</sup>」、「Rogers International Commodity<sup>TM</sup>」および「RICI<sup>®</sup>」は、James Beeland Rogers, Jim Rogers<sup>®</sup>またはBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。





大和投資信託

---

Daiwa Asset Management